

安全運転を多くの人に 広めていきたい

藤村敬二さん⑤
(東穀町、71歳)

菊池一男さん④
(青笹町、70歳)

山田光男さん⑥
(東穀町、77歳)



九月十日に盛岡市の県営交通公園で開かれた「第四回県高齢者交通安全自転車大会」で優勝を果たした遠野市チームの三人。

大会は、安全確認や手信号などの動作を細かくチェックされるほか、狭い走路の走行や障害物が置かれた走路をジグザグ走行するなど、高齢者でなくても難しい検定が行われる。今大会から年齢による持ち点加算が廃止され、より実力が試される大会となった。

昨年の大会は今回と同一メンバーで挑み準優勝。『今年こそは優勝』を合言葉に、八月から取り組んできた。昨年の反省点を踏まえ、手製の障害物を用い、実際の大会を想定した練習を何度も繰り返した。

その結果、大会の技能走行では出場チーム中唯一、三人とも減点ゼロ。この時点で、他チームとの点差が大きく開いた。練習の成果が見事に発揮された。

「私たちが手信号を実践しても、相手はその合図を理解していなければ意味がない。この大会で培った知識と技術を、多くの人に広めたい」と、子どもだけでなく大人も対象にした自転車の安全運転講習会や、安全運転の大会を市内でも開催したいと意欲を見せる。

大会の優勝はあくまで通過点。安全で安心なまちづくりに向けて、三人の経験が大いに生かされるはずだ。

●県高齢者交通安全自転車大会

県内の65歳以上の高齢者が3人1チームを編成。道路交通法に基づく学科テストと、基本走行・技能走行の実技で安全運転の知識と技術を競う。

今年の大会には15チーム44人が参加。

平成十九年九月二日、午前七時三十分、宮城県沖を震源とするマグニチュード8・1の大地震が発生。遠野市で震度5強を観測。地震により、市内各地の道路、鉄道、水道、電気、ガス、通信などのライフライン施設が不通に。また、建物の倒壊や公共施設の損壊が発生。沿岸地域で津波による被害が発生したため、医療救護、救援物資搬送などの必要が生じた。【十九年度県総合防災訓練災害想定より】

あの日を忘れない

